

こども通信

塚田こども医院

上越市栄町 2-2-25
 TEL(0255)44-7777
 FAX(0255)44-8456
 時間外090-3333-4388
 E-mail tsukada@
 kodomo-iin.com
 ホームページ www.
 kodomo-iin.com

猛暑という言葉がこれほどあてはまった夏はありませんでした。やっと過ごしやすくなりました。

秋は「運動」「読書」、そして「食欲」の季節。大いに体と頭、そしてお腹を動かして下さい。

今月より新潟県の乳幼児医療費助成が拡大されました。「子育て支援」のためにも、思い切った策を願っていました。

叶いました。(詳細は二面)

でも、全国最下位のレベルが、少し引き上げられただけ。もたもたしているうちに、他の都道府県はもつと先を行っています。(隣県では、



富山県、山形県、福島県が全市町村で、群馬県が一村を除いて就学前まで無料。長野県では長野市を含めて半数以上の市町村で一部負担もなく小学校入学まで無料です。

全国すべての自治体に同様の制度がありますが、その内容は様々。住む場所により、大きな格差が生じていることも問題です。ぜひ国の制度として全国一律に、そして手厚く実施して下さい。

財政難はありますが、次の世代を担う子どもたちのために、そして子育てに一生懸命取り組んでいる若い世代に対して十分な援助をすることは、日本の今と将来にとってマイナスではなく、むしろ大きなプラスになって戻ってきます。「閉塞状態」にあると

いわれる日本で、子育てに明るい気持ちで取り組んでいけるよう、社会全体が後押ししてくれる日が来るのは、決して遠くないと信じています。

今年のインフルエンザ予防接種は、一〇月一九日より行います。予約は九月一〇日より郵送、FAX、持参などで受け付けます。詳しいことは医院までお問い合わせ下さい。

当院のホームページがインターネットの中で誕生して丸二年がたち、ますます充実し、膨大になってきました。先日、データを検索できる機能をもつけるなど、使いやすくなりました。どうぞ、ご利用になって下さい。

感染症情報

この夏は記録的な猛暑が続きました。とびひ(伝染性膿痂疹)やあせもなどの皮膚のトラブルが目立ったのもこの夏の特徴でしょう。

春から続いているおたふくかぜ(流行性耳下腺炎)の流行は、やや少なくなっているものの、まだおさまっていません。2学期もこのまま流行が続きそうです。(ワクチン接種を受けることでほぼ確実に予防できます。)

水ぼうそう(水痘)は少数、はしか(麻疹)の発生はありませんでした。夏休みの後半に溶連菌感染症を少し見かけましたが、これから冬場に向かって次第に多くなっていくでしょう。

感染症ではありませんが、秋口には喘息発作をおこしやすく、とくに雨の日や低気圧が近づいている時は要注意です。また、ブタクサ、ヨモギなどの雑草類による花粉症が多く見られます。

本格的な冬を前に、今年もインフルエンザ予防接種をおすすめしています。必ず流行する病気ですし、脳炎・脳症などの重い合併症も心配です。ぜひワクチンを受けて下さい。

当院から [感染症情報] を毎週お伝えしています。(0255)44-7722(無料)

F M - J (エフエム上越76.1MHz)=金曜13:30~ 上越有線放送=月曜18時~ i-Mode携帯・パソコンに毎週送信(ご希望の方はeメールでご連絡を)

今月の予定

上越市の予防接種(麻疹、風疹、三混、日脳)
 火、金 午後1:30~2:30
 月、火、木、金 午後4:30~5:00
 乳幼児健診、任意の予防接種
 毎週木曜 午後1:30~2:30
 院長出務
 上越市乳幼児健診 5、19、26日
 上越保健所未熟児相談 18日
 谷浜小学校健診 12日
 有線放送「健康ライフ」15日朝6時-
 「新しい医療費助成制度、他」
 F M - J 「Dr.ジローのこども健康相談」
 月曜午前9:15頃~(76.1MHz)
 第1週(3日)=子育てアドバイス、第2
 週(10日)=子どもの病気、第3週(17日)
 =予防接種、第4週(24日)=事故予防

医療費助成の拡大

今月より新潟県では乳幼児医療費の

助成制度が拡大されます。県の制度で

は、外来は0歳のみから二歳以下に、

入院は二歳以下から三歳以下になりま

すが、新たに所得制限が設けられた

り、市町村によりその上乘せがあるな

ど、複雑になっています。

このうちの外来について、詳しくお

話をします。

県の制度

これまであった「乳児医療費助成制

新しい医療費助成制度の概要(外来)

6歳	板倉町	の制度 (所得制限あり)	市町村の 上乘せ (一部)
4歳	三和村		
3歳	青海町	の制度 (所得制限なし)	市町村の 上乘せ (一部)
2歳	県		
1歳	県		
0歳	県		

窓口で、1回530円、月4回までの負担が必要(残りが助成されます)

「上乘せ」についての市町村の比較(上越・糸魚川保健所管内)

市町村	1・2歳の所得制限部分	3歳以上
上越市		×
新井市		×
柿崎町		×
大潟町		×
頸城村		×
吉川町		×
妙高高原町	×	×
中郷村	×	×
妙高村		×
板倉町		(就学前まで)
清里村		×
三和村		(就学前まで)
安塚町	×	×
浦川原村		×
松代町		×
松之山町	×	×
大島村	×	×
牧村	×	×
糸魚川市	×	×
名立町	×	×
能生町	×	×
青海町		(3歳のみ)

(以上は当院の調べ。詳細は各市町村へお問い合わせ下さい。)

度」は、0歳だけが対象でしたが、所得制限はなく、全ての赤ちゃんが対象でした。窓口負担は、一回五三〇円で、月に四回まで必要です。

新たにできた「幼児医療費助成制度」は一歳と二歳が対象ですが、所得制限が加わります(児童手当特例給付に準ずる)。このため、この年齢の全てのお子さんが助成を受けられるというわけではありません。窓口負担は同じ額です。

市町村独自の上乗せ

これでは不十分だと考えている市町村が多く、県の制度に独自の上乗せがされています。

まずは、所得制限にひっかかって、

県の幼児助成を受けられない方へ上乘せがあります。これを実施することで、所得に関係なく、全ての一、二歳の幼児が助成を受けられることとなります。(上越・糸魚川保健所管内の二市町村の中で二三の市町村が実施します。表参照)

もう一つ、年齢の上乗せを行う市町村があります。近隣では青海町が三歳児まで、板倉町と三和村では、六歳の小学校入学前まで助成します(いずれも所得制限はなし)。板倉町と三和村が大変に思い切った助成を拡大していることがよく分かります。

これからの見通し

今回の県の制度によって、昨年の知事選での公約が実行されました。しかし、全国的にはすでに三歳前後まで助成しているところが大半であり、窓口負担が不要というところが半数ほどあります。その意味で、今回の拡大によっても、まだ不十分だと言わざるをえません。

当面は市町村独自で、とくに年齢の上乗せが進んでいくものと考えています。(この秋に予定されている上越市長選挙も、この点が争点になり、早い時期に年齢拡大が行われることを大いに期待しています。)